



平成 24 年 9 月期



※ 平成 24 年 9 月末現在を基準に、内容を記載しております。

○目 次 (contents)

1.ご あ い さ つ

2.経 営 方 針

3.主要な業務内容

4.直近の事業年度における主要な業務状況

5.自己資本比率の状況

6.金融再生法開示債権の状況

7.有価証券時価情報

8.地域貢献情報

1.ごあいさつ

皆さまには、当JAの事業運営に特段のご理解、ご支援を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

本年度についても組合員、利用者の皆さまに安心してご利用頂けるよう上半期のJA経営内容を記載したミニディスクロージャー誌を作成しましたので、内容をご高覧の上、引き続きご利用賜りますようお願い致します。

平成24年度上半期のわが国経済は、欧州債務危機や世界的な天候不順、米国における干ばつ被害での穀物価格高騰の影響等、世界経済の減速懸念に加え、東日本大震災・福島第一原発事故の影響や雇用不安、国内消費の停滞など先行き不透明な状況が続いております。

そうした中、東日本大震災に伴う原発事故を要因とした放射能問題への対応については、管内市町の助成により水稻作付農家全戸を対象に、放射性セシウム吸収抑制対策として塩化カリ配布と散布指導を行いました。さらに当組合が窓口となり東京電力原発事故農畜産物賠償対策宮城県協議会を通じての賠償請求の支援や行政と連携した農産物検査および自主検査を継続的に実施しており、今後も引き続き組合員をはじめ、地域の皆さまに管内農畜産物の安全・安心を提供してまいります。

また、農政面では、国民的議論も合意もないままTPP交渉参加が事前協議されております。TPP参加は農業のみならず、地域経済・社会に甚大な影響を与えるだけでなく、「国のかたち」を一変させる恐れがあることから、食の安全・安心を守るため、引き続きTPP交渉参加阻止に向けた運動を展開してまいります。

本年度は、組合員、地域住民の皆さまの震災からの一刻も早い復旧・復興に向け取り組むとともに、第四次中期経営計画及び仙南地域農業振興計画（営農Vプラン）の中間年度として、「今こそ協同の力で」を基本方針に掲げ、JAの総合力を活かした事業展開に努めております。その結果、平成24年度上半期については、概ね計画に沿った事業実績となりました。これも偏に、組合員の皆さまのご理解とご協力に対して深く感謝申し上げます。

東日本大震災からの復旧・復興を通して、人と人とのつながり、「絆」、「協同の力」の強さ、重要性が再確認されました。私たちJA役職員も協同組合の存在意義、協同組合が果たす社会的役割と使命をしっかりと再確認し、事業運営を行ってまいります。

農業・JAを取り巻く情勢は、大転換期を向え大きく変化しております。この環境変化に適應し、さらに協同活動を持続・発展させていくため、今後も基本理念を念頭に、皆さまから頼られるJAを目指し、農業を基軸とした地域事業活動を展開してまいります。

最後になりますが、今後も経営の健全性・透明性の向上に努めてまいりますので、何卒、尚一層のご協力をお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

平成24年12月

みやぎ仙南農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 良一



2.経営方針

JAみやぎ仙南のコンセプト（基本理念）

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、
夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

《JAみやぎ仙南のスローガン》

かたちにしよう、みんなの夢を

～Create Your Future～

存在意義

農業を通じて、生命・環境・文化を守ります

経営姿勢

～組合員に対しての経営のあり方～

夢と活力ある地域農業の振興につとめます

～社会（地域住民・生活者）に対しての経営のあり方～

安全・安心な「食」ととどけ、豊かで美しい社会をつくります

行動指針

～組合員に対しての行動指針～

熱意をもって、よりよいサービスを行います

～職員同志の行動指針～

自ら変化を起こし、チャレンジ精神をもって行動します

～社会（地域住民・生活者）に対しての行動指針～

未来をみつめ、多様に行動します



JAみやぎ仙南のもつ「地球・自然・人間マインドウェーブ」のデザインコンセプト。

そして、キーワードとなる“親しみやすさ・行動的な・若々しい”を軸に地域性をもたせデザインしたシンボルマークです。デザインは農業の源である地球を円に例え、筆の流れは澄みきった水の流れて仙南「S」から表現しています。また、蔵王の山なみを表現している形はみやぎの「M」で地域性とJAみやぎ仙南の大きさを表現しています。JAみやぎ仙南にかかわるすべての人々が、心のやすらぎ・やさしさ・新鮮さを提供し、親しみのあるJAに発展していく願いが込められています。また、21世紀型JAの姿を社会に発信していく意志をも表現しています。メインカラーのJAみやぎ仙南の緑（仙南グリーン）は地球の緑色であり、未来への成長と自然環境を深く愛する願いを込めています。サブカラーのJAみやぎ仙南の黄（仙南イエロー）は自然からの恵みの黄色であり、自然に対する感謝の想いを表現しています。

与信に関する基本方針（クレジットポリシー）

当組合は管内の組合員を基本構成員とし、組合員の経済的・社会的地位の向上を図ることを第一義的な使命として担うとともに、農業金融機関および地域金融機関として農業およびその関連産業をはじめとする地域産業の振興、ならびに地域社会の活性化・発展等に寄与するという使命を併せ持っている。

これらの使命を遂行するためには、組合員等利用者の金融ニーズに応えるとともに組合経営の安定性・健全性を維持しつつ、適切な与信を通じて資金を地域社会へ還元する事が重要である。

この方針は、当組合の使命とそれを遂行する手段としての与信の重要性を踏まえ、かつ金融機関としての公共性と社会的責任を強く認識し、貸出をはじめ全ての与信に関する基本事項を定めるものである。

1. 与信は次に掲げる事項を基本方針として行うものである。

- (1) 農業協同組合法はじめ与信業務に関連する法令および組合内諸規程等を遵守し、社会的規範におとることなく、誠実かつ公正な与信を行う。
- (2) 与信を行おうとする先の信用力・資金使途の妥当性・返済能力・与信の集中度合い等を十分に把握・検討して、資金の流動性にも配慮しつつ、当組合の使命および公共性・社会的責任の観点から、その適格性を確認したうえで与信を行う。
- (3) リスクとリターンを適正に評価・判断し、安定的な収益が確保できる与信を行う。

2. 与信の中でも貸出については、上記の与信全般に関する基本方針に加え、次の基本方針の基に行うものとする。

- (1) 貸出先と当組合の双方の成長・発展に資する貸出を行うことを旨とし、社会的正義に反する貸出、社会通念上許されない貸出、投機的資金への貸出および返済不能を糊塗する貸出等は行ってはならない。
- (2) 貸出金額・貸出期間・返済方法については、資金使途や返済財源を十分に調査・把握した上で、必要かつ妥当な金額、適正な期間・方法を設定する。なお、長期の貸出にあたっては、資金の固定化を避けるため分割返済を基本とする。
- (3) 担保価値や保証能力の評価は保守的なスタンスで臨むこととするが、安易に担保・保証に依存した貸出は行わない。
- (4) 職制規程等にもとづき貸出の審査・決定の手続きを適正に行うこととする。また、営業部門から独立した審査部門において二次審査を行い、健全な相互牽制体制を確保する。
- (5) 事業性資金については業況・財務内容等にもとづき貸出先の状況を把握のうえ、その評価を行うことにより信用リスク管理を適切に行う。
- (6) 貸出契約およびこれにともなう担保・保証契約の締結にあたっては、契約相手に対し適切な説明を行う。
- (7) マニュアル等にもとづいた厳正な自己査定を実施して、常に自らの資産状況を正確に把握することにより資産の健全化を図る。

金融商品の勧誘方針

当組合は、金融商品販売法の趣旨に則り、貯金・定期積金、共済その他の金融商品の販売等の勧誘に当たっては、次の事項を遵守し、組合員・利用者の皆さまの立場に立った勧誘に努めるとともに、より一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

1. 組合員・利用者の皆さまの商品利用目的ならびに知識、経験、財産の状況および意向を考慮のうえ、適切な金融商品の勧誘と情報の提供を行います。
2. 組合員・利用者の皆さまに対し、商品内容や当該商品のリスク内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。
3. 不確実な事項について断定的な判断を示したり、事実でない情報を提供するなど、組合員・利用者の皆さまの誤解を招くような説明は行いません。
4. お約束のある場合を除き、組合員・利用者の皆さまのご都合に配慮した勧誘をさせていただきます。
5. 組合員・利用者の皆さまに対し、適切な勧誘が行えるよう役職員の研修の充実に努めます。

◆リスク管理体制

ペイオフ解禁、ネットバンキングの進展等金融をめぐる情勢の変化は、金融機関経営にも大きな影響を及ぼしています。また、JAの信用事業も、事務量の増加や業務内容の高度化・複雑化にともない、社会的役割を發揮しつつ経営の健全性を維持・向上させるため、適切なリスク管理態勢を構築することが求められています。

組合員・利用者の皆さまに安心してJAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、当JAでは自らの責任において適切なリスク管理体制を確立していくことを基本に、リスク管理マネージャーを配置するとともに、役職員によるリスクの認識・把握、リスクの総合的・統一的な計測・管理、組織内の相互牽制等の充実に努めております。

● 信用リスク管理

信用リスクとは、「信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産（オフバランス資産を含む）の価値が減少ないし消失し、金融機関が損失を被るリスク」と定義されています。金融業務の根幹である信用創造機能に伴うリスクであり、金融の本質に係る基本的なリスクといえます。

当JAでは、「資産の健全性」を維持・強化するために、融資を推進する部署と融資案件の審査を担当する部署とを独立して設置し、健全な貸出の実行に努めております。

また、新規延滞再発防止を含めた債権の管理・回収の指導機能を有する部署の設置により、債権の健全化を図っております。

さらに、貸出金を中心とした全資産の自己査定を、第一次査定および一次査定部署から独立した部署による第二次査定を毎年2回実施し、債務者状況や担保状況の確認、担保評価の洗替えを実施するなど、管理体制の強化にも努めております。

● 市場リスク管理

市場リスクとは、「市場要因の変動によりJAが保有する資産や負債の価値が変動し、損失を被るリスク」をいいます。

当JAでは、機動的かつ迅速な意思決定を行うために、常勤役員を含めたメンバーによる「ALM委員会」を定期的で開催し、市場環境と業務環境の動向を踏まえた資産・負債構成の健全化と収益の安定化に取り組み、市場リスクのコントロールに努めております。

● 流動性リスク管理

流動性リスクとは、「必要な資金調達ができなくなるリスクと、迅速かつ適切な取引ができなくなるリスク」をいいます。例えば、組合員・利用者の貯金の払戻が何らかの不測の事態（市場の暴落や経済情勢の急変など）で従来の経験値を大きく超えた場合でも、すぐに対応できるような流動性の高い資金を準備することです。

当JAでは、法令に基づく基準より多めに流動性資金を用意するとともに、農林中央金庫と連携を図り、万全の態勢を整えております。

● オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、「業務の過程、役職員の活動もしくは、システムが不適切であること又は外生的な事象による損失を被るリスク」をいいます。

当JAでは、収益発生を意図し能動的な要因により発生する「信用リスク」や「市場リスク」及び「流動性リスク」以外のリスクで、受動的に発生する事務、システム、法務などについて事務処理や業務運営の過程において、損失を被るリスクと定義しています。「事務リスク」「システムリスク」などについて、事務手続きを整備し、定期検査等を実施するとともに、事故・事務ミスが発生した場合は速やかに状況を把握する体制を整備して、リスク発生後の対応及び改善が迅速・正確にできるよう努めております。

リスク管理の状況

● 事務リスク管理

事務リスクとは、「当JA役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正などを起こすことにより、損失を被るリスク」です。

当JAでは、事務が正確・適正に行われるよう、各種要領・事務手続きを定め、厳格な事務処理に努めております。また、業務執行ラインから独立した専務理事直轄の「業務監査室」による内部監査を実施しているほか、内部牽制組織の充実と強化を図るために、「内部点検実施要領」に基づく自主点検を毎月実施し、報告を基に改善を指示するなど、適正な事務処理の確保と事故防止に努めております。

● システムリスク管理

システムリスクとは、「コンピュータシステムの停止、誤作動などシステムの不備により組合員・利用者へのサービスに支障をきたしたり、組合員・利用者が損失を被るリスク」をいいます。IT（情報技術）の進展により、コンピュータシステムは必要不可欠なものとなっており、障害や不慮の災害が発生すれば、その影響は広範囲におよび深刻な事態となる恐れがあります。

当JAでは、コンピュータシステムの安全性・信頼性を確保・維持・向上するために、情報セキュリティ管理の基本方針である情報セキュリティポリシーを定め、システムリスク管理体制の整備に努めております。また、JAが一貫して情報セキュリティ管理の必要性を認識し行動するために、役職員に対して情報システム利用者ガイドを配付し、教育・啓発による周知を積極的に実施しております。

● コンプライアンス基本方針

JAみやぎ仙南は、相互扶助の理念に基づき、農産物の供給源としての役割や、金融機関としての役割など、協同組合組織として組合員や地域社会に必要とされる事業を通じて、その生活の向上や地域社会の発展に貢献するという基本的使命・社会的責任を担っています。

当JAは、この基本的使命・社会的責任の実現に向けて、以下のコンプライアンス基本方針に基づく事業を展開していきます。

- JAの担う基本的使命・社会的責任を果たし、組合員や利用者の多様なニーズに応える事を展開し、社会の信頼を確立するため、役職員一人ひとりが高い倫理観と強い責任感をもて日常の業務を遂行します。
- 創意と工夫を活かした質の高いサービスと、組合員の目線に立った事業活動により、地域社会の発展に貢献します。
- 関連する法令等を厳格に遵守し、社会的規範に基づき、誠実かつ公正な業務運営を遂行します。
- 経営情報の積極的かつ公正な開示をはじめ、広く地域社会とのコミュニケーションの充実を図るとともに、透明性の高い組織風土を構築し、信頼の確立を図ります。
- 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対しては、確固たる信念をもって、排除姿勢を堅持します。

● コンプライアンス運営態勢

当JAでは、コンプライアンス態勢全般にかかる検討・審議を行うため、代表理事組合長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置し、毎月開催しています。さらに、「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、全役職員一人ひとりにJAみやぎ仙南の基本的使命と、社会的責任にもとづく行動の徹底により、健全で透明性の高い経営の確立に努めております。

また、法令遵守はもとより、社会的規範の遵守は当然のことから、JA内部の仕組みづくりについてもコンプライアンスを前提にしたものとしております。

当JAでは、コンプライアンスを経営の最重要課題としてとらえ、コンプライアンス態勢整備の一環として「内部通報制度」（ヘルプライン）を制定し、不祥事や事故発生の未然防止に努めております。

3. 主要な業務内容

(単位：百万円、口)

| 項目 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経常収益 | 9,620 | 9,875 | 9,100 | 8,348 | 8,774 |
| 信用事業収益 | 1,668 | 1,670 | 1,684 | 1,508 | 1,488 |
| 共済事業収益 | 1,535 | 1,446 | 1,342 | 1,248 | 1,235 |
| 農業関連事業収益 | 6,167 | 6,505 | 5,889 | 5,444 | 5,908 |
| その他事業収益 | 250 | 254 | 185 | 148 | 143 |
| 経常利益 | 196 | 213 | 230 | 77 | 147 |
| 当期剰余金 | 20 | 112 | 67 | △140 | 219 |
| 当期末処分剰余金 | 55 | 160 | 112 | 13 | 255 |
| 出資金 | 4,548 | 4,503 | 4,481 | 4,413 | 4,360 |
| 出資口数 | 4,548,814 | 4,503,090 | 4,481,900 | 4,413,895 | 4,360,335 |
| 純資産額 | 7,128 | 7,205 | 7,229 | 7,045 | 7,280 |
| 総資産額 | 120,789 | 118,200 | 116,585 | 116,555 | 129,423 |
| 貯金等残高 | 107,796 | 105,275 | 104,120 | 104,094 | 115,656 |
| 貸出金残高 | 29,988 | 32,526 | 35,141 | 34,127 | 32,768 |
| 有価証券残高 | 9,580 | 8,734 | 9,963 | 9,390 | 9,289 |
| 単体自己資本比率 | 13.01% | 13.31% | 14.03% | 13.79% | 13.38% |
| 剰余金配当金額 | 15 | 33 | — | — | — |
| ・出資配当の金額 | 15 | 33 | — | — | — |
| ・事業利用分量配当の額 | — | — | — | — | — |
| ・職員数 | 462人 | 426人 | 401人 | 399人 | 430人 |

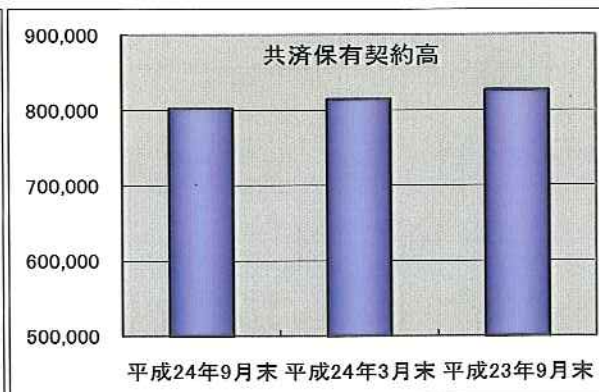
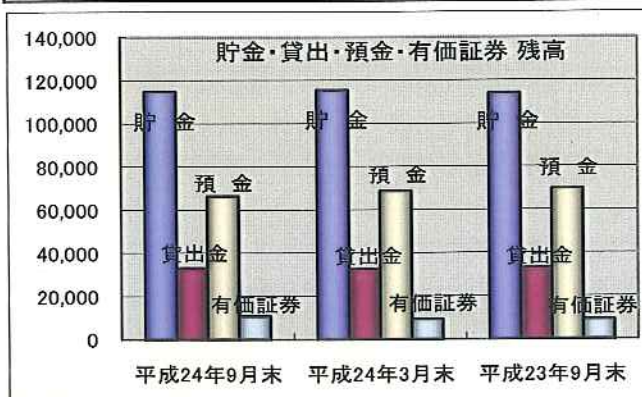
(注)

1. 経常収益は、各事業収益の合計額を表示しております。
2. 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。
3. 信託業務の取り扱いは行っておりません。

4. 直近の事業年度における主要な業務状況

(単位：百万円)

| | 平成24年9月末 | 平成24年3月末 | 平成23年9月末 |
|----------|----------|----------|----------|
| 貯金(残高) | 114,957 | 115,656 | 114,211 |
| 貸出金(残高) | 33,157 | 32,768 | 33,148 |
| 預金(残高) | 66,468 | 68,761 | 69,815 |
| 有価証券(残高) | 10,756 | 9,289 | 9,114 |
| 共済保有契約高 | 802,400 | 814,679 | 826,713 |



5.自己資本比率の状況

| | 平成24年9月末（推計値） | 平成24年3月末 |
|--------|---------------|----------|
| 自己資本比率 | 13.39%程度 | 13.38% |

（注） 9月末の単体自己資本比率（推計値）は、平成24年9月末の自己資本額を算出し、平成24年3月末の信用リスク・アセット額、オペレーショナル・リスク相当額を基準に、9月末までの資産増減から推計した信用リスク・アセット増減額を平成24年3月末の信用リスク・アセット額に加減して算出しています。

6.金融再生法開示債権の状況

当 JA では、金融再生法に基づき、貸出金を貸出先の財政状態や経営成績等をもとに区分する、資産の自己査定を行っております。

その結果は、下記の表の通りです。

また、当 JA では、貸倒損失に備えた貸倒引当金により保全を行い、貸出債権の健全性の向上に努めています。

金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

| 債権区分 | 平成24年9月末 | 平成24年3月末 | 増減 |
|----------------------|----------|----------|-------|
| ① 破産更正債権およびこれらに準ずる債権 | 894 | 869 | 25 |
| ② 危険債権 | 143 | 87 | 56 |
| ③ 要管理債権 | 133 | 130 | 3 |
| ④ 正常債権 | 32,060 | 31,739 | 321 |
| ⑤ 合計 | 33,233 | 32,825 | 408 |
| 不良債権比率 | 3.52% | 3.31% | 0.21% |

※ 不良債権比率 = (①+②+③) ÷ ⑤

7.有価証券の時価情報

（単位：百万円）

| 保有区分 | 平成24年9月末 | | | 平成24年3月末 | | |
|--------|----------|--------|------|----------|-------|------|
| | 取得価額 | 時価 | 評価損益 | 取得価額 | 時価 | 評価損益 |
| 売買目的 | — | — | — | — | — | — |
| 満期保有目的 | 8,245 | 8,499 | 254 | 7,123 | 7,336 | 213 |
| その他 | 2,504 | 2,527 | 23 | 2,139 | 2,151 | 12 |
| 合計 | 10,749 | 11,026 | 277 | 9,262 | 9,487 | 225 |

（注）

- 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づいております。
- 取得価額は、償却原価法適用前、減損処理前のものです。

8.JA みやぎ仙南の地域貢献情報

当JAの新たな基本理念である「食と農を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、夢と笑顔のあふれる地域づくりに貢献します」というコンセプトのもと、地域農業の振興、自然環境保全、安全な食料生産と供給により、安心して暮らせる豊かな地域社会の創造に貢献する活動を展開しております。

また、JAの総合事業を通じて金融・共済機能サービスを提供するだけでなく、地域の協同組合として総合事業を通じて、農業や助け合いを通じた社会貢献にも努めております。

■ 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金の残高

組合員をはじめ地域住民の皆様や、事業主の皆様からの貯金をお預かりしている残高は、以下の通りです。

平成24年9月末現在(単位:百万円,未満切捨)

| <種 別> | | <残 高> |
|-------|--|---------|
| 普通貯金 | | 50,706 |
| 定期貯金 | | 61,808 |
| 定期積金 | | 2,443 |
| 合 計 | | 114,957 |

(2) 貯金の商品

貯金の商品は、当座性貯金(総合・普通・当座等)から定期性貯金(定期貯金・定期積金・財形貯蓄等)など各種目的・期間・金額にあわせてご利用いただいております。

また、各種キャンペーンを展開し、地域の金融機関として事業展開を行っております。

■ 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金の残高

組合員への貸出をはじめ、地域住民の皆様の手助けや、事業者の皆様への事業に必要な資金を貸出しております。

また、地方公共団体、農業関連産業等への貸出、地域経済の発展・向上に貢献しております。

平成24年9月末現在(単位:百万円,未満切捨)

| <区 分> | | <残 高> |
|---------|--|--------|
| 組合員 | | 22,047 |
| 地方公共団体等 | | 8,944 |
| その他 | | 2,166 |
| 合 計 | | 33,157 |

(2) 融資商品

融資の商品として、住宅ローンをはじめマイカーローン、教育ローン等の各種ローンを取り揃えております。

農業関連経営に必要な資金としては、集落営農組織や担い手を対象とした、スーパーアグリサポート資金や、農業者を対象としたアグリマイティ資金をご提供しております。

さらに、制度資金等各種取り揃えておりますので、目的に合わせてご利用いただけます。

■ 農業の振興と多面的機能

農業は、単に食料を生産するだけでなく、水田や畑の保水能力により水害を防止したり、多様な生態系を維持したりと、環境保全の役割も担っております。

当JAでは、このような多面的な機能を持った農業を維持発展させ、人々に安全・安心、そして新鮮な食料を提供するとともに、環境問題にも取り組んでおります。

- ・ 農業用廃プラスチック等の回収運動による熱エネルギー化
- ・ トレーサビリティの主要品目の導入と全品目導入へ向けて推進中
- ・ こだわり米等の環境保全米の拡大推進
- ・ ポジティブリスト制への対応強化
- ・ 農業生産工程管理(GAP)の推進

■ 地域との交流と次世代への食育の取り組み

当JAでは、組合員・地域の皆さまに、食の恵みに感謝しながら地元の安全・安心な農畜産物に理解を深めてもらおうと、10月下旬から11月中旬にかけて7地区で、農家組合・生産組織等と一体となり「JAみやぎ仙南フェスティバル」を開催しています。各地区とも、地元の農畜産物の即売会や品評会、生活改善展、小・中学校児童生徒作品展など、多彩なイベントを行っております。

またその他の地域との交流と次世代への食育の取り組みとして以下の活動を行っております。

- ・ 食育セミナーや文化教室における各種講座の開催
- ・ 小学校等での農業体験活動の実施
- ・ JA広報誌（名称：れいんぼー）などの発行による情報の提供
- ・ 田んぼの生き物調査の取組み

JA青年部・女性部による食農教育への取り組みとして、子供たちに作物を育てる楽しさ、働くことの楽しさを知ってもらおうと、地元の小学校の児童に、苗植えから生育の状況、収穫までの指導を行い、体験を通じて食と農の重要性について、理解を深めてもらう活動を展開しております。



田植作業体験：角田市立枝野小学校



JAフェスティバル：角田地区シンケンファクトリー



くらしのサポート応援講座：料理講座



園芸・苗定植作業による食育活動：筆甫保育所



平成24年11月30日現在

| | | |
|-----------------|--------------------|-----------------|
| みやぎ仙南農業協同組合 | 柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3 | 0224-55-1111(代) |
| 総務部 | // // | 0224-55-1111 |
| 業務監査室 | // // | 0224-55-1525 |
| 経営企画室 | // // | 0224-55-1905 |
| 普及部 | // // | 0224-55-1288 |
| 業務部 | // // | 0224-55-1688 |
| 営農経済部 (農業振興対策課) | // // | 0224-55-1870 |
| 営農経済部 (営農販売企画課) | // // | 0224-55-1661 |
| 営農経済部 (生産資材課) | 角田市佐倉字宮谷地2 | 0224-63-0033 |
| 東部営農センター | // // | 0224-63-5601 |
| 西部営農センター | 刈田郡蔵王町大字円田字白山前8 | 0224-22-7557 |
| 金融 (本店営業) | 柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3 | 0224-55-1586 |
| 柴田地区事業本部 | 柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15 | 0224-56-1212 |
| 槻木支店 | 柴田郡柴田町槻木上町二丁目1-15 | 0224-56-1211 |
| 船岡支所 | 柴田郡柴田町船岡中央一丁目9-2 | 0224-55-2009 |
| 大河原支店 | 柴田郡大河原町字中島町3-7 | 0224-53-1560 |
| 村田地区事業本部 | 柴田郡村田町大字村田字押切107 | 0224-83-2291 |
| 村田支店 | 柴田郡村田町大字村田字押切107 | 0224-83-2221 |
| 沼辺支所 | 柴田郡村田町大字沼辺字北寄井137 | 0224-52-1144 |
| 川崎地区事業本部 | 柴田郡川崎町大字前川字裏丁181 | 0224-84-2222 |
| 川崎支店 | 柴田郡川崎町大字前川字裏丁181 | 0224-84-2220 |
| 蔵王地区事業本部 | 刈田郡蔵王町大字円田字白山前8 | 0224-33-2115 |
| 蔵王支店 | 刈田郡蔵王町大字円田字白山前8 | 0224-33-2111 |
| 遠刈田支所 | 刈田郡蔵王町遠刈田温泉仲町16 | 0224-34-2513 |
| 白石地区事業本部 | 白石市大川町1-6 | 0224-25-3531 |
| 白石支店 | 白石市大平中目字八ツ森脇31 | 0224-25-1487 |
| 小原支所 | 白石市小原字明神前11-6 | 0224-29-2034 |
| 福岡支店 | 白石市福岡長袋字山の下37 | 0224-26-3114 |
| 越河支所 | 白石市越河五賀字南原2-5 | 0224-28-2211 |
| 七ヶ宿支店 | 刈田郡七ヶ宿町字関134 | 0224-37-2101 |
| 角田地区事業本部 | 角田市佐倉字宮谷地2 | 0224-63-3131 |
| 角田支店 | 角田市角田字町29 | 0224-63-3140 |
| 枝野支所 | 角田市枝野字辻70-2 | 0224-63-3142 |
| 藤尾支所 | 角田市尾山字北田41-2 | 0224-63-3143 |
| 東根支所 | 角田市平貫字塚田71-1 | 0224-69-2311 |
| 桜支所 | 角田市佐倉字町裏一番80-3 | 0224-63-3145 |
| 北郷支所 | 角田市岡字小土浮1 | 0224-68-2311 |
| 西根支所 | 角田市高倉字新町136-4 | 0224-65-2311 |
| 丸森地区事業本部 | 伊具郡丸森町字除25-1 | 0224-72-2270 |
| 丸森支店 | 伊具郡丸森町字除25-1 | 0224-72-1204 |
| 筆甫支所 | 伊具郡丸森町筆甫字平館82-2 | 0224-76-2004 |
| 大内支所 | 伊具郡丸森町大内字西畑15 | 0224-79-2009 |
| 館矢間支所 | 伊具郡丸森町館矢間館山字坪石25-2 | 0224-72-2278 |
| 大張支所 | 伊具郡丸森町大張川張字宮田23-3 | 0224-75-2144 |

JAみやぎ仙南 ディスクローチャー誌

発行日 平成24年12月30日

編集・発行 みやぎ仙南農業協同組合 経営企画室

電話 0224-55-1905 FAX 0224-55-1115

<http://www.ja-miyagisennan.jp>